



▲日よけ施設の設置が予定される競馬場跡地(芝生広場)

市立中学校女子生徒の制服問題を問う!



柳 収一郎
議員

問 今年の1月28日、29日、各学校の保護者や先生を集めて説明会が開催されたが、3月6日には大切な高校受験を控えていた。急ぐべきではなかったと思うがどうか。

市長 スケジュールなどの実務については、教育委員会の中で決めている。それにより説明会を開催し、粛々と行っている。

問 競馬場跡地内に日よけを設置することに、約900人のボランティアが植えた約780坪の芝生をはがすことになってしまった。日よけの問題は当初から考えられたこと、計画性がないのではないかと。

市長 日よけスペースが必要だという市民の声を受けて設置するもので、屋根に太陽光パネルを設置し、その売電収入で20年間の減価償却をすることにより、市の持ち出しゼロで建設できる。内部で検討して編み出されたアイデアであり、計画通りに進めている。

中学校生徒の死亡事故に関する第三者調査委員会による早急な調査を!



渡 辺 悟
議員

問 議会の要求を受け、第三者調査委員会が設置されたが、事故発生以来、8カ月が経過してしまつた。期限を決め、早急な調査を依頼するべきだと考えるがどうか。

市長・総務部長 期限については、委員と意見交換をする中で、今後の調査方法を固めていきながら決めていきたい。今後、スケジュール感を持って取り組んでもらうように、第三者調査委員会をお願いしていく。

問 栃木ウーヴァFCに対する第二本拠地化等の支援については、子供に夢を与える施策であるが、それに至る過程で栃木市との関係を悪化させたことは、重大な問題である。今後の対応を聞きたい。

教育次長 慎重に話を進めてきたが、結果的に栃木市が不快感を示すこととなった。その後、早急に関係

修復を図つた中で、両市が中心となり県南地域に根差したチームを育てたいこうと、合意を行った。今後、さらに関係修復を図っていきたい。



質問、答弁とも要旨のみ掲載しました。
3月議会の会議録は、5月下旬にインターネット上の会議録検索システムに掲載を予定しております。詳細は市議会ホームページをご覧ください。

常任委員会の審査から

足利市手数料条例の改正について(議案第6号)

問 低炭素建築物新築等計画の認定申請については、新たな調査機関による適合の審査が必要となるが、建築確認が許可されるまでの期間は従前と比べどうなるのか。

答 適合書があれば、短縮される場合も考えられるが、適合書がない場合については、直接、職員が検査に当たするため期間は多少必要となる。

足利市旧松田保育所児童送迎車両の運行に関する条例の制定について(議案第11号)

問 送迎車両の運行・管理については、市で行う予定なのか。

答 運行業務についてのみ民間業者に委託する。送迎車両には保育士を同乗させ、児童の状況と安全を確認しながら運行していきたい。

平成24年度足利市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)について(議案第16号)

問 3年間の指定管理期間で行うとのことであるが、市として、どのようにチェックをしていく予定なのか。

答 通常の指定管理者に対する市としての管理については行っていく。この3年間は、民営化を見据えた自助努力による指定管理者への移行であり、早期での民営化の実現を目指して鋭意努力をしていく。

足利市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について(議案第27号)

問 市営住宅の中には、入居者のいないところがあるが、どのような取り組みをしているのか。

答 老朽化が一つの原因であると捉えているため、国の補助金によりリフォーム事業を実施している。市民ニーズに合った住みやすい市営住宅にしていきたい。



予算審査特別委員会の審査から

平成25年度一般会計予算案及び各特別会計予算案を審議するため、議員全員で構成する予算審査特別委員会（委員長 中山富夫議員、副委員長 中島由美子議員）を設置し、常任委員会を単位とする4つの分科会を設置しました。一般会計及び特別会計の各分科会における主な質疑応答（要旨）は、次のとおりです。

第1分科会（総務企画）

○一般会計

問 市税について、歳入予算における市税の割合が37.1%であるが、近年の推移について聞きたい。

答 平成22年度までは40%台を確保していたが、平成23年度は38.3%、平成24年度は37.8%と年々減少している。

問 足利市メガソーラー事業売電収入については、何カ月分を見込んだ額なのか。

答 売電が始まる平成25年7月から平成26年3月までの9カ月分を見込んで計上したものである。

問 東日本大震災復興推進基金積立金については、震災による市内の被害復旧のためのものなのか。

答 同基金については、4カ年ほどかけて復興のために使うものである。平成25年度は、県の防災訓練及びハザードマップの完成、防災倉庫の設置などに、取り崩して使用する。

問 公共施設等整備基金積立金について、薬局施設使用料約1億2千万円の半分を毎年積み立てるものか。

答 当面、毎年約6千100万円を積み立てる。残りの半分は、競馬場跡地の活用等も含めた市民への還元として考えている。

第2分科会（民生環境）

○一般会計

問 障害者（児）自立支援給付費に

ついて、全体的に額が上がっているのは、障害者の数が増えたのか、それともサービスを利用する回数が増えたのか。

答 障害者自立支援法に基づいたサービスであるが、自立支援法の一部改正等によりサービス内容が拡大したこと、及び対象者、利用する方も増加しているためである。

問 生ごみ水切り器普及事業費は、どのくらいの数を想定しているのか。

答 約1万5千個を予定しており、順次普及させていきたい。

問 介護保険特別会計（保険事業勘定）住宅改修費の過去3年の実績を聞きたい。

答 平成24年度決算見込みは約5千500万円、平成23年度決算約3千200万円、平成22年度決算約4千260万円である。

問 国民健康保険特別会計（事業勘定）今後の本市の国民健康保険財政の見通しについて聞きたい。

答 何とか黒字を保っているが、税収の確保や、医療費を適正化していく努力など、気を引き締めていかなければならないと考えている。

第3分科会（教育経済）

○一般会計

問 足利そばまつり事業について、かなり来場者が増えていると思うが、駐車場が狭いという問題などから、場所の変更は考えていないのか。

答 まちなかの賑わい創出の観点か

ら、今後も現在の場所で開催したい。

問 足利市金券発行事業の経済波及効果をどのように見込んでいるのか。

答 今回の金券は、市内全域の取扱店で使える。これまでのような現金支給の場合、約15%は市外で使われてしまうとの調査結果が出ている。金券であれば、その分が市内店舗で使われ、買い物をしてもらえればプラスの効果が発生すると考えている。

問 新たに論語推進事業費が計上されているが、どのような内容なのか。

答 論語の素読を通して足利市の歴史と文化を知り、郷土を誇れる人を育てる教育を目指す。そのために論語抄を全児童に配布する。

第4分科会（建設防災）

○一般会計

問 歴史的まちなみ修景補助金の内容について聞きたい。

答 足利学校、鏝阿寺周辺の石畳を整備した区域やその周辺の、歴史的雰囲気や基調としたまちなみを創設するため、一定の基準に合致する地域の建物・工作物等に対し、経費の一部を補助する制度である。

問 救急救命士養成事業で毎年1名実施しているが、各消防署で救急救命士が救急車に乗れる状態なのか。

答 平成25年2月末現在で救急救命士の有資格者は30名いる。救急車は各署に配備され、交代勤務であっても救急救命士は常時配置している。

市議会を傍聴しませんか！

6月 定例会開催予定

日 時	会議の種類
5月23日(木)10時～	議会運営委員会
30日(木)14時～	本会議（提案説明）
6月10日(月)10時～	〃（質疑にあわせて一般質問）
11日(火)10時～	〃
12日(水)10時～	〃
13日(木)10時～	総務企画常任委員会
14日(金)10時～	民生環境常任委員会
14日(金)10時～	教育経済常任委員会
14日(金)10時～	建設防災常任委員会
19日(水)10時～	議会運営委員会
14時～	本会議委員長報告等

※本会議の開催日時などは変更される場合もあります。
※傍聴の受付は会議開始の1時間前からとなります。
詳しいことは議会事務局（☎202204）へお問い合わせください。

編集雑感

新年度予算がスタートし、早くも1カ月が過ぎました。私たち広報委員も、当号が最後の担当となります。広報あしががみ3月1日号に掲載し、パブリック・コメントを実施しました「足利市議会基本条例案」が6月定例会に提出される予定です。議員自らを律し、新たに構成される常任委員会等、それぞれの立場で市政への提言を行い、チェック機能としての務めを果たしていく所存です。市議会だよりが新しい広報委員会の創意工夫により、市民に愛読されますよう希望します。
(広報委員)